

令和5年度
学校だより
7月号

かごまち



令和5年7月 3日
文京区立駕籠町小学校
校長 矢部 明美

やってみて新たな自分に出会う

校長 矢部 明美

6月19日～21日に、6年生の魚沼移動教室がありました。2日目。地元のガイドの方に付いていただき、飯盒炊爨を行いました。新聞紙や薪を使って火を起こし、といだお米とカレールー用の鍋を火にかけてカレーライスを作りました。

おそらく、家庭のキッチンで調理をした経験はあるはずですが、野外で、限られた調理器具と何より電磁調理器もガスレンジもないところでの調理です。説明を理解することはでき、しかも一生懸命やろうという意欲はどの子も持っています。しかし、その場で実際に自分がどのようにことを進めればいいのか、ということのイメージがなかなか持てないという様子が見られました。そのため、火がつくと薪をくべることにみんなが集中してしまい煙が立ち込めました。煙が目にしみて、しばらく離れたところで、友達の作業を見ている子もいました。ある子が、「自分が煙で目が痛くなった時、友達が助けてくれた」という感想を述べました。そしてそこから協力の大切さと、感謝の気持ちを持っていました。実際に体験することで、自分には何ができるのか、何ができないのか、新たな自分の側面との出会いがあると同時に、「協働」の意味を学ぶことができました。

ともすれば「知っている」＝「できる」と思いがちですが、やってみて初めて分かる自分自身のこと、自分以外の他者のことがあります。体験してみても初めて、周囲の人に支えられている自分に気づき、感謝の気持ちを持つことができます。「やってみる」ことで、一人一人が新たな自分に出会い、成長を実感できる夏になることを心から願っています。

7月の行事予定 ふれあい月間			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土	土曜授業公開② 3時間授業（全）	17	月	海の日
2	日		18	火	（全校朝会なし）
3	月	全校朝会 8時程 5時間授業（全）	19	水	給食終
4	火	安全指導 8時程 5時間授業（全）	20	木	終業式 土曜時程4時間授業（全）
5	水	児童集会 4時間授業（全）	21	金	夏季休業日始 個人面談
6	木	こころの劇場（6年）読み聞かせ（3年）水道キャラバン（4年）	22	土	
7	金	4時間授業（1年）	23	日	
8	土		24	月	個人面談
9	日		25	火	個人面談
10	月	全校朝会	26	水	個人面談
11	火		27	木	個人面談
12	水	かごめ班遊び	28	金	
13	木	4時間授業（1年） 5時間授業（2～4年） 読み聞かせ（6年）避難訓練 学びの教室1学期終	29	土	
14	金	水泳指導終 クラブ	30	日	
15	土		31	月	
16	日				

体験から学んだ魚沼移動教室

6年担任

6年生は、6月19日（月）から21日（水）まで、魚沼移動教室に行ってきました。事前に魚沼の自然や見学の先のこと等について調べたり、生活班の係ごとに集まり、仕事の内容を確認したりしました。また、3日間のめあてを立て、それを達成するためにできることを具体的に考え、いつでも意識できるよう、しおりの表紙に書きました。

1日目は、保護者の皆様と教職員に見送られ、明るい表情で元気に出発しました。最初の見学先「八色物産」では、雪室見学をしました。雪を利用して米を低温で貯蔵し、おいしいお米を消費者に届ける工夫があることを学びました。2日目のフォトラリーでは、チェックポイントを見付け、グループごとに写真を撮りました。雄大な山脈を眺めながら歩いたり、足湯につかったりして、自然を肌で感じることができました。そのあと行った飯盒炊きさんでは、薪を使って火をおこし、カレー作りをしました。火のそばにいと煙で目がしみることや火力の調節が難しいことに多くの児童が気付いていました。3日目は、新潟県立歴史博物館に行きました。縄文時代に使われていた土器や発掘された貝塚等の展示物を見て、当時の人々の生活の様子について学びました。

3日間を通して、移動教室だからこそ学べる貴重な体験をすることができました。体験を通して得た学びを、学校での学びと結び付けて、さらに深めていけるよう、指導していきたいと思ひます。



学校を支える委員会活動

特活部

委員会活動とは、本来ならば駕籠町小学校に通っている児童全員で行うべき仕事をそれぞれが少しずつ分担して行うというものです。本年度の委員会活動は、代表、放送、保健、運動、図書、集会、給食、環境ボランティアの8つの委員会で活動を行っています。

6年生、5年生、4年生（代表委員のみ）は昨年度の計画や実施内容を参考にして、今年度の活動計画を立てました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策の規制が緩和されたことにより、活動の幅を広げることができそうです。集合して活動したり、集会を行ったり今年度ならではの活動を子供たちは考えています。

よりよい学校生活が送れるように、今年度の新しいアイデアを取り入れながら、駕籠町小全体の児童のために学校を支える一員として責任をもって活動しています。活動を通してそれぞれの立場から、「自分たちの学校を自分たちでよくしていこう」という意識を高めていきます。



運動委員会（リモート集会の様子）



放送委員会（朝の放送の様子）



環境ボランティア委員会（朝の門立ち）